

平成22年度 少年少女自然体験交流事業 国立赤城青少年交流の家 地方受入プログラム報告

独立行政法人国立青少年教育振興機構では、ミクロネシア地域に日本の子どもたちを派遣し、また、太平洋諸島の子どもたちを日本に招聘し、自然、異文化及び同世代の人々との交流などの体験活動を行い、子どもたちに自然のすばらしさや共存することの大切さを学ぶ機会を提供しています。このうち、ミクロネシア連邦・パラオ共和国の子どもと引率36名が6月19日～6月30日の12日間、日本に滞在しました。国立赤城青少年交流の家では、このうち4日間の地方受入プログラムを企画実施しました。

6月25日(金)

13:30～15:30 前橋市立第二中学校での交流会

学校に到着すると、担当の二中学生がゲストを一人一人迎えに来てくれました。体育館での交流会では、まず、二中の代表生徒が「祭り囃子」の演奏を披露、続いてミクロネシアの代表が民族衣装を着て伝統芸能の踊りを披露しました。また、その後、日本文化の体験交流をしました。



二中学生のお囃子の演奏



ヤップチームの踊り



日本の伝統遊び体験



毛筆での習字体験



なかなかの成果



柔道の体験

16:00～17:30 国立赤城青少年交流の家

到着し、職員による歓迎セレモニーに参加。所長より心を込めた歓迎の挨拶を受けました。その後、夕べのつどいに参加。当日宿泊していた前橋市と千葉県の小中学校2校と一緒に団体挨拶。さらに簡単なレクリエーションで交流をしました。



6月26日(土)

9:00～12:00 谷川岳天神平

天神平では毎年子どもたち用に、雪が一山残してあります。山は初夏の様相でしたが、私たちの願いが通じたのか、雪山がまだ溶けずに残っていました。子どもたちは、早速よじ登り、はじめて触る雪の冷たさに大はしゃぎ。首都圏に流れていく水の起源に触れることができました。



谷川岳に到着



ロープウェイで天神平へ



ちょっと怖かった様子



この雪が水源になります



雪にさわってビックリ



実際はこの大きさ

12:00~16:00 昼食・移動・奈良俣ダム

天神平のレストハウスで昼食を済ませ、再びロープウェイで下山。奈良俣ダムに移動しました。日本有数のロックフィルダムである奈良俣ダムでは、日本の水資源利用について、DVDやダム見学を通して知ることができました。



お昼は天ぷら定食



奈良俣ダムにて



雄大さにビックリ

17:00~18:00 対面式・ホームステイへ

奈良俣ダムを後に、群馬大学の対面式会場へと移動。初めは緊張していたゲストも、前橋市国際交流協会の紹介で集まってくださったホストファミリーの皆さんの優しい笑顔に、すぐにうち解け、それぞれの家庭に旅立っていきました。



ちょっと不安そう・・・



ホストファミリーの皆さん



すぐに笑顔がこぼれました



6月27日(日)



ホームステイ中は、各ホストファミリーの皆さんのご厚意で、観光地への訪問、ショッピングセンターでの買い物、家庭での生活体験を通して、日本の文化や自然に触れる活動ができたようです。1泊2日のホームステイでしたが、皆さん本当の親子・兄弟・姉妹のように仲良くなり、楽しいひとときが過ごせたようです。

18:00 ~ 20:00 さよならパーティ

前橋ホテルの大宴会場で、さよならパーティを開きました。

来賓としておいでいただいた、前橋市国際交流協会副会長の内山武氏、前橋市立第二中学校長の鹿沼初男氏の挨拶に続いて、ゲスト代表の挨拶、乾杯と続きました。

途中、ミクロネシア連邦・パラオ共和国それぞれのチームのパフォーマンスを挟み、パーティは和やかに進みました。

最後に、国立赤城青少年交流の家、島崎次長の挨拶でパーティは閉会となりましたが、ホスト、ゲストの皆さんは、名残が尽きない様子で、別れを惜しんでいました。



パラオチーム



ポンペイチーム



ヤップチーム